

◆内なる宇宙 (The Universe Within) をテーマとした次世代映像アワード MADD. Award 2021 を開催



次世代映像に関わる実験・考察の場を提供するMADD.は、“内なる宇宙 (The Universe Within)”をテーマに掲げ、2019、2020に続く第3回目となる次世代映像のアワード「MADD. Award 2021」を開催。

本年も2つのカテゴリーで映像作品を募集。

■ MADD. Award 2021 開催概要

・テーマ：“内なる宇宙 (The Universe Within)”

今年のテーマは、内なる宇宙 (The Universe Within)。

地球の周りには広大な天の川銀河が広がっていますが、私たちの体内も膨大な構成要素が相互関係する精妙な内なる宇宙であることが知られています。

内なる宇宙は人体だけにとどまりません。精神的な世界、超微細な世界、理論物理学者の頭の中、子供の豊かな想像の国。宇宙という概念を創造的に拡張し、その中にダイブすることができたらどんなに素敵でしょうか。

MADD. Award 2021は、内なる宇宙を感じる新たな表現を募集します。

・応募資格：

企業・団体あるいは個人・グループ、年齢、性別、職業、国籍は問いません。

・カテゴリー：

2カテゴリーで作品を募集します。

Cat.1【大型映像】

“内なる宇宙 (The Universe Within)”というテーマを「?型ビジョン」で表現する映像作品

Cat.2【360度映像】

“内なる宇宙 (The Universe Within)”というテーマを「イマーシブ空間」で表現する映像作品

・応募：MADD. ホームページ (<https://madd.jp>) よりエントリーをお願いいたします。

・賞：審査員による審査を行い、募集2カテゴリーで優秀賞ほか数

作品を選出します。賞金と副賞については、決定次第 MADD. ホームページにて発表します。

・MADD. screening (作品上映会)

2021年12月、コニカミノルタプラネタリア TOKYO・都内施設 (近日公開) の2箇所で開催する予定です。

なお、コニカミノルタプラネタリア TOKYO での上映会は、SIGGRAPH Asia 2021 Art Gallery の Special Program となります。

SIGGRAPH Asia は、コンピュータ科学分野の国際学会の分科会「SIGGRAPH」が毎年アジアで主催するコンピュータ・グラフィックスとインタラクティブ技術の研究発表・展示を行う国際会議で、例年1万人を超える研究者、専門家が来場します。

詳細については、決定次第、ご案内いたします。

・スケジュール 2021/8 ~ 募集開始

~ 2021/10/31 エントリー締切

~ 2021/11/26 作品提出締切

2021/12 MADD.screening (作品上映会)

・制作物

8K 作品制作に関わる機材、環境、制作手法等は、MADD. にてサポートいたしますのでお気軽にお問い合わせください。

Cat.1【大型映像】

- 8K 解像度 (7680 × 4320) に対応した実写、アニメーション/CG (リアルタイムレンダリングによるものを含む) の映像コンテンツ

- 300 インチ以上の投影環境を予定

- 原則 60 ~ 180 秒の映像コンテンツ

Cat.2【360度映像】

- 実写、アニメーション/CG (リアルタイムレンダリングは不可) の全天周もしくは全天球映像コンテンツ

- 直径 15m 程度のドームでの投影を予定

- 原則 60 秒 ~ 300 秒程度の映像コンテンツ

・MADD.book

MADD. では、MADD. Award 応募作品 / 次世代映像に関わる寄稿などを収録した MADD. book を毎年刊? しております。

MADD. Award 応募者には、MADD.book を進呈いたします。

・その他

詳細情報については、随時 MADD. ホームページおよび SNS で公開いたします。

●本件に関する問い合わせ先

MADD. 事務局 mail : info@madd.jp

◆フィルムライト：FilmLight Colour Awards 2021 について、概要を発表した。

フィルムライト株式会社（東京都文京区、代表取締役 松井幸一）は、FilmLight Ltd. が主催する FilmLight Colour Awards 2021 について、概要を発表した。作品の提出締切は 9 月 15 日。

1. カテゴリー

作品の応募は以下の 4 カテゴリーに分類され、「Baselight の革新的な使用」カテゴリー以外は作品制作のプラットフォームは不問。劇場長編ひとつのオリジナルプログラムで単独パートとして上映または放送されたもので 50 分以上の長編

●テレビシリーズ・エピソード物 ライブ、ドキュメンタリー、ノンフィクション、アニメーション（複数エピソード）などのテレビ番組。1 シーズンのシリーズで 2 話以上のグレーディング

●コマーシャル・音楽ビデオ コマーシャル、音楽ビデオを含む 10 分以下の作品。映画トレーラーは含まない。

●Baselight の革新的な使用

Baselight ユーザーが対象。Baselight のプロジェクトでワークフロー、相互運用にブレークスルーを実現し、クリエイティブで型破りな使い方をした（注）応募できるはひとつのカテゴリーに対してひとつの作品のみ。Baselight の革新的な使用カテゴリー以外に同一の作品を他のカテゴリーに応募することは不可。

2. 技術仕様

提出物は非公開で取り扱われます。候補作品に上がった段階で公開許可を作品の所有者に求めますが、公開することは審査の要件ではありません。

応募作品の抜粋の長さは 5 ～ 15 分。コマーシャル・音楽ビデオの提出は 1 ～ 10 分。抜粋の中には 1 分以上のシーンまたはシーンの一部が含まれていなければなりません。ひとつのシーンを完全に含める必要はありませんが、シーン内のショットのつながりを改変してはいけません。

応募作品のビデオフォーマットは以下のとおりとします。

【推奨仕様】 コンテナ：QuickTime .mov、コーデック：ProRes 422 HQ、カラースペース：2.4 Gamma / Rec.709、解像度：1920x1080、フレームレート：オリジナルのまま（ただし整数値）、オーディオ：ステレオ

【最低仕様】 コンテナ：MP4、コーデック：H.264/H.265、オーディオ：ステレオ

3. エントリー

提出は 2021 年 6 月 16 日から 2021 年 9 月 15 日まで受け付。「Baselight の革新的な使用」カテゴリー以外では、提出作品にどのグレーディングを使用しても構いません。

2020 年 1 月 1 日より前、2021 年 6 月 1 日以降に公開された作品は対象にはなりません。

作品はカラーグレーディングを担当したカラリストによって提出してください。

発表は 2021 年 11 月、各カテゴリーの最優秀賞が発表されます。

作品提出はこちらから <https://filmlight.awardcore.com>

◆（一社）放送サービス高度化推進協会：新 4K8K 衛星放送視聴可能機器台数 975 万台 2021 年 7 月までの集計値

（一社）放送サービス高度化推進協会（A-PAB）では、新 4K8K 衛星放送の視聴可能機器台数を集計。

今月発表分（2021 年 7 月分）は、約 34 万台。このうち、新チューナー内蔵テレビは、約 24 万 4 千台となった。視聴可能機器台数の累計は、約 975 万台。

新 4K8K 衛星放送 視聴可能機器台数 単位：千台

分類	2021 年			
	6 月末累計	7 月分	7 月末累計	
直接受信	① 新チューナー内蔵テレビ	6,521	244	6,765
	② 外付け新チューナー	256	1	257
	③ 新チューナー内蔵録画機	1,062	45	1,107
CATV受信	④ 新チューナー内蔵 STB	1,568	54	1,622
	合計	9,407	344	9,751

※ ①、②、③：JEITA 発表出荷台数、④：JCTA ヒアリングによる設置台数
（JEITA：一般社団法人 電子情報技術産業協会 JCTA：一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟）
千台未満を四捨五入し表記しているため累計や合計が表記数字の計と一致しないことがあります。

【A-PAB コメント】

コロナ禍の中、無観客で開催された東京オリンピックですが、ビデオリサーチによりますと、7 月 23 日に NHK 総合で放送された開会式の平均世帯視聴率（関東）は 56.4 %と、1964 年の東京オリンピックの 61.2% に次ぐ、歴代 2 位の高視聴率でした。BS 放送では、今回初めて、NHK で 4K と 8K の超高精細画像でオリンピックが放送され、民放 BS 各局でも一部の競技が 4K で放送されました。これまでにないオリンピックの臨場感を自宅のテレビでお楽しみいただくことができました。

A-PAB としましては、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、新 4K8K 衛星放送受信可能機器台数 1,000 万台を目標に掲げて参りましたが、東京パラリンピック開催中に、1,000 万台を超えるよう、引き続き周知広報に努めて参ります。

【参考】新 4K8K 衛星放送視聴可能機器台数<月別推移>

分類	2018 年	2019 年	2020 年												累計
			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
①	222	1,944	170	158	226	145	186	285	289	284	259	253	307	400	
②	173	230	7	6	2	1	1	2	1	-	0	1	0	1	
③		315	25	26	38	28	23	33	42	31	38	58	65	98	
④	55	640	45	49	58	41	34	45	69	64	57	53	50	59	
合計	450	3,129	247	239	324	215	244	365	401	379	354	365	422	558	

分類	2020 年	2021 年												累計
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
①	4,907	239	241	308	242	245	339	244						6,765
②	252	1	0	1	0	0	1	1						257
③	823	40	31	34	26	41	68	45						1,107
④	1,265	47	38	55	54	57	51	54						1,622
合計	7,247	327	310	398	322	343	459	344						9,751

① 新チューナー内蔵テレビ ② 外付け新チューナー ③ 新チューナー内蔵録画機 ④ 新チューナー内蔵 STB
①、②、③：JEITA 発表出荷台数、④：JCTA ヒアリングによる設置台数

【A-PAB からのお知らせ】

以下の事項につきましても、多くのみなさまに ご周知いただければ幸いです。

● 新 4K8K 衛星放送の視聴方法をわかりやすく紹介する動画

第 1 弾『4K テレビが我が家にやってきた』篇 を公開中！

A-PAB の HP から、または、公式 YouTube サイトから

ご覧いただけます

（公式 YouTube サイト URL）

<https://www.youtube.com/watch?v=5layFh2p8P4>

● WEB でかんたんに視聴方法をチェックできます。こちらもぜひ、ご利用ください。

A-PAB 視聴方法かんたんチェック <https://ksg.apab.or.jp/>

◆ 2021 年度 第 27 回日本プロ音楽録音賞開催決定



一般社団法人日本音楽スタジオ協会 <https://www.japrs.or.jp>
ホームページより原文のまま掲載させていただきます。

2021 年度 第 27 回日本プロ音楽録音賞の開催が決定し、9 月 1 日（水）～9 月 30 日（木）の期間に作品応募を受け付ける運びとなりました。

昨年、第 27 回を迎える予定でありました第 27 回日本プロ音楽録音賞ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により残念ながら中止とさせていただきます。

現在もコロナ禍の状況は続いておりますが、今だからこそ「音楽の力でみんなの心をつなぎたい」と言う思いにより、エンジニア皆様の音楽制作への想いに応えるべく、この時代の音楽制作状況に即した形で顕彰区分を見直し、更に感染症に対する安全対策を第一に考えながら運営に関する検討を慎重に進めて参りましたが、関係各位のご理解・ご協力を得て、第 27 回日本プロ音楽録音賞を開催することとなりました。

音楽録音に携わるエンジニアの方々は応募要項をご覧ください、是非作品をご応募ください。

※応募（エントリー）フォームおよび応募用紙 DL は 9 月 1 日（水）より開始いたします。

■ 第 27 回日本プロ音楽録音賞実施について

第 27 回日本プロ音楽録音賞運営委員会

委員長 内沼 映二
副委員長 高田 英男
高橋 邦明

レコーディングの現場において日夜努力をされているエンジニアを顕彰するこの制度は、昨年第 27 回を迎える予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により残念ながら中止とさせていただきます。現在もコロナ禍の状況は続いておりますが、エンジニア皆様の音楽制作への想いに応えるべく、この時代の音楽制作状況に即した形で顕彰区分をあらためて見直し、感染症に対する安全対策を第一に考えながら第 27 回日本プロ音楽録音賞を開催することとなりました。

関係各位のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

本年度の応募作品対象期間および新たな顕彰区分等につきましては以下の通りです。

【応募作品対象期間】

・2019 年 9 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日とさせていただきます。

（中止となった昨年の対象期間に制作され、審査が叶わなかった作品も応募可能。）

【新たな応募作品の分類】

「Best Sound 部門」の新設

・音楽制作における作品フォーマットが多様化する中、従来のような CD 部門とハイレゾリューション部門を分けることの必要性を検討した結果、CD 部門・ハイレゾリューション部門の代わりに、2ch ステレオのパッケージ作品とノンパッケージ作品（PCM:96kHz 以下、DSD:2.8MHz 以下）を対象とした Best Sound 部門を新設しました。

Best Sound 部門の区分

例年通り、「クラシック、ジャズ、フュージョン」と「ポップス、歌謡曲」の 2 区分といたしますが、一昨年まで顕彰していたニュー・プロミネントマスター賞の代わりに、若手エンジニアが目目される場が増えることを願い、「ポップス、歌謡曲」に応募された 35 歳未満のミキシング・エンジニアを対象とした顕彰をいたします。

「Super Master Sound 部門」の新設

・ハイレゾリューションならではの音質を重視して制作された 2ch ステレオ作品（PCM:176.4k 以上、DSD:5.6MHz 以上、ジャンル問わず）を対象とし、顕彰いたします。

「Immersive 部門」の新設

・今までは 5.1ch までを対象としていたマルチ ch サラウンド作品につきましては、イマーシブオーディオによる音楽制作が進んでいる現状を踏まえて、あらゆるサラウンド作品を対象とした Immersive 部門（ジャンル問わず）を新設し、顕彰いたします。（ただし、今年度はマルチチャンネルスピーカーによる再生が可能な

作品とさせていただきます。)

「アナログディスク部門」の新設

・この数年来、発売タイトル数・生産数の増加傾向にあるアナログディスクにつきまして、一昨年はアナログディスク特別賞として審査・顕彰をさせていただきましたが、安定した制作が続けられている現状を踏まえ、アナログディスク部門として顕彰いたします。

放送部門につきましては、一昨年までと同様に2chステレオとマルチchサラウンドに区分しての顕彰とさせていただきます。

尚、本年度第27回の実施に際しましては、一般社団法人日本オーディオ協会(JAS)、一般社団法人日本音楽スタジオ協会(JAPRS)、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会(JAREC)、一般社団法人日本レコード協会(RIAJ)、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN、日本放送協会(NHK)の6団体により運営委員会を構成することとなりました。

この顕彰制度につきましては、ご後援を頂いております経済産業省をはじめ、関係者より高い評価を頂いておりますが、運営委員会といたしましては、第27回日本プロ音楽録音賞を成功させるべく、一層努力して参る所存です。

最後に、より多くの皆様からの作品の応募と、関係各位のご協力を心よりお願い申し上げます。

■「第27回日本プロ音楽録音賞」応募要項

1. 実施目的

本賞は音楽文化と産業の発展の一翼を担う録音エンジニアが制作し応募した音楽録音作品について、エンジニアが有する音楽に対する感性、技術力等を評価することにより、授賞対象優秀作品および最優秀作品並びにベストパフォーマー賞を選定し、これに携わり制作を担ったエンジニアおよびベストパフォーマーのアーティストを顕彰することでエンジニアの技術の向上と次世代エンジニアの発掘を図ることを目的とし、表彰を行うものです。

2. 審査対象

(1) Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門、アナログディスク部門および放送部門の放送メディア作品

国内において企画され、2019年9月1日から2021年8月31日までの間に初めて国内で発売(2021年9月30日までにサンプル盤が配布されているものを含む)、配信、または公に放送された(2021年9月30日までに放送が決定しているものを含む)音楽録音作品を審査の対象とします。

尚、旧譜の音源が新たにミキシングされた作品は応募が可能です。但し、全ての作業を国外で行った作品を除く。

3. 応募資格者

(1) 自薦: 応募作品の制作に主要な役割を担ったエンジニア(Best Sound 部門はマスタリング・エンジニアを含む)とします。

(2) 推薦: レコード会社・音楽出版社・番組制作会社等のディレクター、プロダクションの担当者、ミュージシャン等を含めた制作関係者、および運営委員会が推薦を依頼した関連各社とします。

4. 受賞資格者

最優秀作品および優秀作品の制作に主要な役割を担ったエンジニアとし、1作品当たり3名以内とします。

5. 応募作品の分類および授賞区分

応募作品部門の分類および授賞区分は次の通りとなります。

【Best Sound 部門】

クラシック、ジャズ、フュージョン(2ch)

(CD、SACD、DVD、BD & 配信PCM 96kHz以下・DSD 2.8MHz以下)

ポップス、歌謡曲(2ch)

(CD、SACD、DVD、BD & 配信PCM 96kHz以下・DSD 2.8MHz以下)

【Super Master Sound 部門】

2chステレオ、ジャンル問わず

(音源フォーマットPCM 176.4kHz以上、DSD 5.6MHz以上)

【Immersive 部門】

サラウンド作品全般、ジャンルを問わず

【アナログディスク部門】

2chステレオ、33/45回転、ジャンルを問わず

【放送部門】

2chステレオ

ラジオ番組(AM、FM、衛星放送、有線放送)

テレビ番組(地上波、衛星放送)

マルチchサラウンド

テレビ番組(地上波、衛星放送)

【ベストパフォーマー賞】

Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門の全応募作品よりベストパフォーマーを選定。

6. 応募作品のメディア

Best Sound 部門のパッケージ作品は市販商品での応募とし、他の音声記録メディアによるコピーでの応募は受け付けません。

Best Sound 部門、Super Master Sound 部門のノンパッケージ作品のオーディオ・ファイル・フォーマットは、配信音源等のファイル・フォーマットとしWAV、FLACおよびDSDIFF、DSF等とします。

Immersive 部門のパッケージ作品は市販商品での応募とし、ノンパッケージ作品はマルチチャンネル音源でのミックスマスターとし、ファイル・フォーマットはWAV、およびDSDIFF、DSF等、もしくは納品時のファイル等(ADM-BWF、.atmos 他)でご応募ください。(360RAの作品応募等につきましては、一度事務局にお問い合わせ下さい。)※ご応募いただいた音源につきましては審査のみの再生となりますが、納品マスターを応募作品とする場合は必ず制作ご担当者の許諾を得て下さい。

放送部門: 2chステレオビデオ(XDCAM、P2) およびWAVファイル。

放送部門: マルチchサラウンドビデオ(XDCAM、P2)

XDCAM、P2は内部データをすべてBlu-ray Discにコピーして

の応募も可能です。

また、映像圧縮フォーマットについては、応募用紙に記載している通りです。

4K 放送作品につきましては、審査の都合上 2K にダウンコンバートしてご応募下さい。

HDCAM での作品応募につきましては事務局までお問い合わせ下さい。

他の 5.1ch 音声記録メディアについては別途連絡のこと。

尚、最大 ch 数は 5.1ch とします。

★放送メディアに応募の際は、局および制作会社の担当者に事前了解を得て下さい。

また、ラジオ番組に関しては、担当されている皆様からのより広範囲な応募を期待しております。

更に、放送局の外部制作者として音楽番組を担当されている皆様からの積極的な応募も期待しております。

7. 応募作品数

応募作品の制作に主要な役割を担ったエンジニア 1 名 1 作品の応募を原則とします。但し、Immersive 部門、アナログディスク部門、および応募作品を共同制作したエンジニア等及び推薦作品についてはこの限りではありません。

8. 応募方法

応募要項巻末の応募項目を確認いただき、一般社団法人日本音楽スタジオ協会ホームページ「第 27 回日本プロ音楽録音賞」ご案内ページ内リンク先にある各部門のエントリーフォームから必要項目をご入力いただくか、各部門の応募用紙をダウンロードいただき必要項目をご入力のうえ、運営事務局 (japrs@japrs.or.jp) までメール添付にてお送りください。

パッケージ作品につきましては市販商品をお送りいただき、その他音源ファイル等につきましては、各種メディアにコピーもしくはアップロード等にてお送りください。

※応募作品の返却を希望される方は、送料をご負担いただくこととご了承下さい。

9. 応募受付期間

応募受付期間は、2021 年 9 月 1 日 (水) から 9 月 30 日 (木) までの必着とします。

10. 応募作品送付先

一般社団法人 日本音楽スタジオ協会

事務局長 内藤 重利

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 1 番 11 号モナーク大久保 3F

E-mail:japrs@japrs.or.jp

TEL :03-3200-3650

11. 審査方法

曲名や所属先名およびエンジニア名などを伏せたブラインドホルド式で行い、共通審査項目をそれぞれ採点し、100 点を満点として得られた採点表を集計し、平均点の上位得点の中から授賞対象優秀作品 (ノミネート作品) を選定し、その中から最高得点作品を最

優秀賞に決定します。尚、審査委員が関わる応募作品については、審査をせず不採点とし、他の審査委員の採点を集計することにより公平を期しています。

12. 審査発表

各部門ごとに審査委員会を構成して、応募作品を審査します。Best Sound 部門のクラシック、ジャズ、フュージョンについては各優秀 2 作品、Best Sound 部門のポップス、歌謡曲については優秀 2 作品 (ミキシング・エンジニア 35 歳未満の応募作品については別途優秀 2 作品)、Super Master Sound 部門、Immersive 部門、アナログディスク部門については各優秀 2 作品、放送部門 2ch ステレオおよびマルチ ch サラウンドについては各優秀 2 作品をそれぞれ事前発表します。今年度は授賞式を都内レコーディングスタジオに於いて感染症対策を十分に講じた上でを行い (予定)、2021 年 12 月 6 日 (月) の「音の日」に各部門の最優秀作品を (一社) 日本音楽スタジオ協会ホームページにて受賞式の様子を含めて発表する予定です。(感染症の状況によっては内容が変更となる場合があります。)

12. 審査委員の構成

総合審査委員長 内沼 映二 副審査委員長 高田 英男、高橋 邦明
Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門、アナログディスク部門

審査委員: 内沼 映二、岡部 潔、奥原 秀明、川澄 伸一、椎名 和夫、塩澤 利安、末永 信一、高田 英男、高橋 邦明、松尾 順二、松武 秀樹、三浦 瑞生、森元 浩二、山田 幹朗、脇田 貞二

放送部門

審査委員: 深田 晃、亀川 徹、芝本 孝幸、鈴木 孝十郎、高橋 正勝、中島 博和、松永 英一

13. 主催、後援、協賛、賛助および協力

主 催 一般社団法人 日本オーディオ協会、一般社団法人 日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人 日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人 日本レコード協会、一般社団法人 演奏家権利処理合同機構 MPN

後 援 経済産業省

協 賛 NHK、一般社団法人 日本民間放送連盟、株式会社ステレオサウンド

賛 助 Sound&Recording Magazine、CD Journal、Stereo Sound、PROSOUND、レコード芸術、Audio Accessory、analog

協 力 NPO 法人ミュージックソムリエ協会、株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ/mora/ソニー・ミュージックスタジオ、オンキヨーホームエンターテイメント株式会社/e-onkyo music、オトトイ株式会社/OTOTOY、株式会社サウンドインスタジオ、パナソニック株式会社、株式会社ミキサズラボ/ワーナーミュージック・マスタリング、株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント/ビクタースタジオ、ミックスウェーブ株式会社、株式会社ジェネレックジャパン、株式会社エムアイセブンジャパン、ドルビージャパン株式会社、東放学園音響専門学校、

株式会社日本コロムビア、株式会社 JVC ケンウッド・クリエイティブメディア、株式会社キング関口台スタジオ、東洋化成株式会社（以上順不同、申請中を含みます）

14. 問い合わせ先および各主催団体

一般社団法人 日本音楽スタジオ協会（運営事務局）

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-1-11 モナーク大久保 3F
事務局長 内藤 重利 TEL:03-3200-3650

お問い合わせフォーム

一般社団法人 日本オーディオ協会

〒108-0074 東京都港区高輪 3-4-13 第二高輪借成 4F
専務理事・事務局長 末永 信一

特定非営利活動法人 日本レコーディングエンジニア協会

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-1-11 モナーク大久保 3F
事務局 伊東 真奈美

一般社団法人 日本レコード協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信会館 9 階
企画・広報部部长 丹野 祐子

一般社団法人 演奏家権利処理合同機構 MPN

〒107-0061 東京都港区北青山 2-10-29 日昭第 2 ビル 2F
理事・事務局長 高村 宏

■顕彰規定および補足説明

1. 顕彰規定について

(1) Best Sound 部門の最優秀作品と優秀作品については、ミキシング・エンジニアおよびマスタリング・エンジニアに対して、表彰状および楯を贈呈。作品制作に貢献されたスタッフ（アシスタント・エンジニア等）に 1 名に対して、表彰状を贈呈し、共同作業の成果を顕彰します。

Best Sound 部門の歌謡曲、ポップスに応募された 35 歳未満のミキシングエンジニア作品の中から、最優秀作品と優秀作品を選出し、ミキシング・エンジニアおよびマスタリング・エンジニアに対して、表彰状および楯を贈呈。作品制作に貢献されたスタッフ（アシスタント・エンジニア等）に 1 名に対して、表彰状を贈呈し、共同作業の成果を顕彰します。

(2) Super Master Sound 部門、Immersive 部門については、ミキシング・エンジニアに対して表彰状および楯を贈呈。

作品制作に貢献されたスタッフに 1 名に対して、表彰状を贈呈し、共同作業の成果を顕彰します。

(3) アナログディスク部門については、カッティング / ミキシング・エンジニアおよびカッティングスタジオに対して表彰状および楯を贈呈。

(4) 放送部門の最優秀作品と優秀作品については、ミキシング・エンジニアに対して、表彰状および楯を贈呈。

セカンド・エンジニアおよび作品制作に貢献されたスタッフ 1 名に対して、表彰状を贈呈し、共同作業の成果を顕彰します。

(5) ベストパフォーマー賞については、Best Sound 部門、Super Master Sound 部門および Immersive 部門の全応募作品

よりアーティスト 1 組を選定し、表彰状および楯を贈呈。

2. 補足説明

(1) Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門の中で、作品の制作に大きく関わったメインスタジオにも表彰状および楯を贈呈。

(2) 但し、放送部門については、スタジオの表彰はありません。

(3) レコード会社や音楽出版社等のディレクターの方、プロダクションの担当者およびミュージシャン等を含めた制作関係者の皆様からの推薦は、1 人 1 作品にさせていただきます。

(4) 自薦での応募は一人一作品、ただし Immersive 部門・アナログディスク部門の作品は除く。

(5) 再発売またはそれに準じる作品について

すでに一度発売され、あらたにリマスタリングされたものは審査の対象になりません。

また、配信の場合、一度発売された旧譜を新たなミキシングをせずに配信したものは審査の対象になりません。

(6) 同一エンジニアが、ある作品では主要な役割を担い、別の作品では共同制作者であった場合は複数作品の応募が可能です。

区分	氏名(ふりがな)	所属先名
ミキシング・エンジニア		
マスタリング・エンジニア		

エンジニア区分が記されていない空欄につきましては、作品制作に貢献したスタッフ（1 名まで）を記入して下さい。

3. 審査について

(1) Best Sound 部門においては審査委員全員による予備審査を行い、選出された作品を本審査委員会に於いて審査します。

(2) Best Sound 部門以外は予備審査を行わず、応募された全作品を本審査委員会に於いて審査します。

4. 作品の返却について

(1) 応募作品は原則として返却いたしません。返却を希望される場合は、その旨お申し出下さい。

(2) 作品の返却につきましては、発送にかかる実費をご負担いただけます。

5. 応募（エントリー）について

各部門 WEB エントリーフォームにご入力いただくか、各部門の応募用紙（Excel ファイル）をダウンロードし、必要項目をご入力の上運営事務局（japrs@japrs.or.jp）までメール添付にてお送りください。

WEB エントリーフォームからのご応募につきましては、登録いただいたご連絡者のメールアドレス宛にご入力内容の編集リンク先を記したメールをお送りいたしますので、エントリー後に情報の追加や修正いただくことも出来ます。入力途中で不明な情報がある場合でも一旦フォームをお送りいただき、後に入力途中のフォームにアクセスいただき情報の追加も可能です。

●お電話でのお問い合わせ

03-3200-3650（JAPRS 事務局）

◆キャノンマーケティングジャパン「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2021-2022」セキュリティ対策製品部門で9年連続1位を獲得

キャノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キャノンMJ）は、日経BP社（本社：東京、社長：吉田 直人）による「日経コンピュータ 2021年9月2日号 顧客満足度調査 2021-2022 セキュリティ対策製品部門」で1位を獲得した。



「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2021-2022」は、ITベンダーに関する満足度を製品・サービス導入の責任者が評価する調査。キャノンMJが「セキュリティ対策製品部門」1位を獲得するのは、同部門が開始された2013年から9年連続^{*}となる。

キャノンMJグループは、2025年ビジョンに「社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決するプロフェッショナルな企業グループ」を掲げ、長年にわたり蓄積してきた経験とノウハウをベースに、SIおよびコンサルティング、各種ソフトウェアの開発・販売をしている。ITセキュリティの分野においては、国内総販売代理店を務める総合セキュリティソフト「ESET セキュリティソリューションシリーズ」や自社開発の総合情報漏えい対策ソリューション「GUARDIANWALLシリーズ」、中小オフィス向けIT支援サービス「HOME」などに加え、セキュリティ運用監視サービスやコンサルティングといった多彩な商品・サービスをお客さまの課題やニーズに合わせて提供している。

さらに、サイバーセキュリティ関連技術の研究を行う専門組織「サイバーセキュリティラボ」で調査・収集・分析した最新の脅威動向などを自社で運営するセキュリティ情報サイト「サイバーセキュリティ情報局」やオンラインセミナーでさまざまな角度から解説している。有益な情報を包括的に提供することで、組織のセキュリティ対策推進を支援するとしている。

キャノンMJはこれからも、より満足いただける商品とサービスを提供することで、お客さまのセキュリティ対策に貢献できるよう努める。

※ 2019年1月に、キャノンITソリューションズ株式会社（キャノンITS）よりキャノンMJへITセキュリティ関連商品・サービスの企画・開発機能を移管しており、本受賞および受賞履歴はキャノンITS名義を含めています。

* ESETは、ESET, spol. s r.o.の登録商標です。

●セキュリティソリューションホームページ：

<https://cweb.canon.jp/it-sec/>

●サイバーセキュリティ情報局：

https://eset-info.canon-its.jp/malware_info/

■ 日経コンピュータ 顧客満足度調査 2021-2022 の概要

顧客満足度調査 2021-2022 は、日経BP「日経コンピュータ」が企画・実施している調査です（協力：日経BP コンサルティング）。企業向けIT関連製品やサービス全25部門におけるITベンダーに関する満足度を、CIO（最高情報責任者）や情報システム部長といった製品・サービス導入の責任者が評価するものです。調査は毎年実施しており、今回が26回目になります。調査は2021年4月5日から5月25日にかけて実施し、941件の有効回答を得ました。調査結果の詳細は日経コンピュータ 2021年9月2日号、または以下の日経BP社ホームページをご参照ください。

▼日経コンピュータ 顧客満足度調査 2021-2022

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/18/10785/>

◆Blackmagic Design ナショナルジオグラフィックの「Race to the Center of the Earth」、URSA Mini Pro 4.6K G2 で撮影



Blackmagic Design は、ナショナルジオグラフィックのアドベンチャー・リアリティ番組「Race to the Center of the Earth」の第1シーズンのメインカメラとして、複数のURSA Mini Pro 4.6K G2が使用されたと発表した。

「The Amazing Race」のプロデューサーであるエリーズ・ドガニエリ(Elise Doganieri)とパートラム・ヴァン・マンスター(Bertram van Munster)の両氏が手掛けた同作は、4チームが世界の異なる場所からレースを開始し、決められたルートを通って、極めて手強い地形を乗り越えていく姿を追う新番組。最終行程では、全4チームがハワイで顔を合わせ、広い海のどこかに浮かぶブイを目指してレースを繰り広げる。優勝チームには100万ドルが贈呈される。撮影監督のジョシュア・ギターソンキ(Joshua Gitersonke)氏は、世界各地をまたに掛けた高難度のレースの撮影には慣れている。同氏は「The Amazing Race」の16シーズンに関わり、最終的には同番組の撮影監督を務めた経験から、アドベンチャー番組の撮影に必要な知識と能力を備えていると実感していたという。「過去数年にわたって、パートラムから多くのことを学びました」とギターソンキ氏は語る。「パートラムはプロデューサーとディレクターとして成功しているだけでなく、優れた撮影監督でもあるので、二人が「Race to the Center of the Earth」の撮影監督に私を選んでくれたことを大変光栄に思っています。」

各チームは世界の異なる場所からレースをスタートするため、参加者にとって困難であるだけでなく、スタッフにとっても難題の多い制作環境となっている。同作の計画段階で、ヴァン・マンスターと



ドガニエリの両氏は、小型でありながら高画質が得られるカメラが必要であると認識していた。

「バートラムと二人で、URSA Mini Pro G2 のフッテージをいくつかチェックし、その後、自分でテストすることにしました」と同氏は続ける。「URSA Mini Pro G2 では、それほど高くないデータレートで RAW フォーマットの撮影が可能で、登山しながらの撮影にも適したサイズであることが選択した理由です。」

カメラチームは、レース参加者の 4 チームが、ロシア、北米、南米、東南アジアの様々な地形を進んでいく様子を、雨、強風、雪、水中などに関わらず撮影する必要がある。ギターソンキ氏は、各チームに対してカメラを使用する場所とタイミングに加え、様々な条件に合わせて URSA Mini Pro 4.6K G2 をリグ組みする方法を事前に細かく計画した。各カメラ独自のリグには、すぐに使用できるレインカバーなどが含まれた。

「綿密に計画することで、番組を通してルックに一貫性を持たせることができました。しかし、世界有数の撮影監督から成る撮影チームに依るところが非常に大きいですね。チームの誰もが『The Amazing Race』やその他のアドベンチャー番組に関わっており、カメラをかついで走ったり、登山したりなど、極限状態での撮影を豊富に経験しています。本作では、アドベンチャーレースの感情をそのままに伝えるシネマライクなスタイルを目指していました。レースの参加者が駆け巡る大自然の中に、視聴者が入り込んだかのような感覚を与える映像を撮影したいと考えていました。つまり、美しい景色の非常に細かなディテールを捉える必要がありました。」

撮影条件が大きく異なるので、各チームは、変化の激しい環境、アクション、状況に臨機応変に対処できる必要があった。URSA Mini Pro 4.6K G2 はコンパクトであるため、撮影が柔軟に行えるだけでなく、その画質にも満足していると同氏は語る。撮影には Blackmagic RAW の固定ビットレート 3:1 が使用された。これは、優れた画質を維持したまま、ストレージを節約するのに適した設定だったという。

起伏に富んだ地形で、常に移動を続けるロケにおいて、ストレージは大きな懸念事項の一つであったからだ。

出演者やスタッフだけでなく、URSA Mini Pro 4.6K G2 にも大きな試練が与えられたが、カメラはその期待に応えたという。「URSA Mini Pro は極めてタフですね。極寒の吹雪や氷点下、超高湿度など、非常に厳しい条件でも 16 台のカメラのうち、作動し



なくなったカメラはありませんでした。」

しかし、同氏が最も気に入っている点は Blackmagic RAW の色忠実度だという。「Blackmagic RAW のナチュラルなイメージに加え、優れたダイナミックレンジと色忠実度のおかげで、美しい映像を簡単に撮影できます。また、Blackmagic RAW はポストプロダクションにおける柔軟性が高いので、番組のルックを後日調整できる安心感が得られます。」

撮影チームにとって、カメラに搭載されている何気ない機能が撮影に大きな違いをもたらしたと語る。「ボタン一押しで 4K の 120fps で撮影できる機能を頻繁に使用しました。」と同氏は語る。「この機能は毎回確実に動作し、気に入っている機能の一つです。非常にわずかなサポートのもと、冒険番組を撮影する上で、内蔵 ND フィルターのおかげで、シンプルな手順で適切な露出を得ることができました。また、Blackmagic のビューファインダーは優れたシャープネスとカラーが得られるため、カメラで捉える実際の映像を把握する上で極めて役立ちました。」

アドベンチャー番組には多くの困難が伴うが、同時に、息を呑むような素晴らしい瞬間も付き物だ。

URSA Mini Pro 4.6K G2 は、撮影チームがそのような瞬間を捉える一翼を担った。「シベリアの森を参加チームがトナカイと共に進む様子を撮影する必要があったのですが、古い装甲兵員輸送車に乗せてもらって撮影しました。簡単に言うと、戦車に乗って撮影したんです。森の中には、通り抜けるのが非常に難しい湿地帯もあり、キャンプ地までは数キロ離れた地点で日が沈み始めていました。戦車がキャンプ地に向かう中、カーブを曲がって、ふと振り向いた際に非常に美しい夕暮れの森が目前に広がっていました。」

「そこで、URSA Mini Pro を掴んで戦車から飛び降りて、30 メートルほど走って戻り、参加者とトナカイが曲がるであろうと予測した場所でカメラを構えました。参加者は、私たちと同じルートを取っている訳ではなかったので、確実にここを通る保証はなかったのですが、幸いにも私に向かってカーブを曲がってくれたので、120fps のスローモーションで、美しい森と夕焼けを背景とした参加者のショットが撮影できました。この番組の撮影において最も気に入っているショットのひとつです」と同氏は締めくくった。



www.blackmagicdesign.com/jp

◆ Blackmagic Design : Kunzite のミュージックビデオ「Frosty」、URSA Mini Pro 12K および Pocket Cinema Camera 6K Pro で撮影

Blackmagic Design は、バンド Kunzite のミュージックビデオ「Frosty」の撮影に URSA Mini Pro 12K および Pocket



Cinema Camera 6K Pro デジタルフィルムカメラが使用されたことを発表した。DaVinci Resolve Studio および DaVinci Resolve Speed Editor も、ポストプロダクションにおいてフッテージの整理およびカラーグレーディングに使用された。

Kunzite は、ラタタットのプロデューサー/マルチ・プレーヤーのマイク・ストラウド (Mike Stroud) と White Flight のアグスティン・ホワイト (Agustin White) による音楽コラボレーション。同ミュージックビデオは、プリースト・フォンティーン・バテン (Priest Fontaine Batten) 氏がディレクター兼共同プロデューサー、ミア・ウッドラフ (Mea Woodruff) 氏とホワイト氏が共同プロデューサー、バテン氏が撮影監督を務め、ジョーイ・“ブレード”・グラツィアーノ (Joey “Blades” Graziano) 氏がローラーブレードでのカメラ撮影、バテン氏、ホワイト氏、映像作家のトリスタン・シーニウク (Tristan Seniuk) 氏がポストプロダクションを手掛けた。カリフォルニア州の著名なベニスビーチで撮影された同作は、女性サーファーと、女性により立ち上げられたオープンなスケートボーダー共同体である GRLSWIRL のアスリートを含み、女性スケートボーダーをメインとしている。

「各出演者の真の個性とアスリートのスキルを紹介したいと考えていました」とバテン氏は説明する。「各アスリート独自の動きが個性的で素晴らしいので、楽曲のそれぞれの箇所とその動きのエネルギーをマッチさせたいと思いました。」

バテン氏とグラツィアーノ氏は 2 台の URSA Mini Pro 12K をメインに、1 台の Pocket Cinema Camera 6K Pro をベニスビーチ・スケートパークでの撮影に使用した。Pocket Cinema Camera 6K Pro は可能な限りシンプルにして機動性が高められた。また、内蔵 ND フィルターにより、撮影中にすばやく簡単に調整が行えたと語る。バテン氏は続ける。「楽曲はユニークな箇所や変化に満ちているので、編集に面白みを加えるために、様々な動き、アングル、フレームレ



トを使用しました。そういった面で、URSA Mini Pro 12K の解像度とフレームレートのオプションは素晴らしいですね。解像度が高い

ので、ポストプロダクションでリフレーム、クロップ、スタビライズを実行できただけでなく、ズームも追加できました。」

また、手頃な価格のカメラを複数使用したので、撮影で高フレームレートを試すことができたと言っている。URSA Mini Pro 12K では 240fps の 4K という途方もない設定で撮影できます。また、非常に美しいショットが得られます。一部のショットは、ジョーイが 24fps または 48fps で撮影し、私が 120 ~ 240fps で実験的なショットを撮影しました。」と同氏。「低価格のシネマカメラを使用する利点は、2 台目や 3 台目のカメラを撮影に使用できることです。各アスリートに費やせる時間が限られていたので、2 台で撮影できたことには助けられました。」

「何年にも渡って Blackmagic Design のカラーサイエンスを愛用しているのですが、この新世代のセンサーはさらに良くなりましたね」とバテン氏は続ける。「URSA Mini Pro 12K では、非常に美しいフィルムルックが得られます。また、カメラは PL マウントを搭載しているので、古いスーパー 16 レンズをアダプターを使用せずに装着し



て、4K や 6K を撮影できます。本作ではレトロなフィルムのようなルックを目指していたので、これは大きなボーナスでした。DaVinci Resolve Studio を使用したカラーグレーディングで、トリスタンがそのルックをさらに微調整しました。」

シーニウク氏によると、同作では典型的な南カリフォルニアの空気感を創り出すように作業したという。「日中の直射日光のもとで撮影したので、DaVinci Resolve Studio の HDR カラーホイールは、ハイライトとシャドウのリカバリーに大変役立ちました」と同氏は語る。

「カットページのソーステープ機能を使用したのは今回が初めてだったのですが、数日分のフッテージを極めて高速に扱えます。これは、DaVinci Resolve Speed Editor を使用するとさらに高速化できます。DaVinci Resolve Speed Editor のサーチダイヤルは超高精度で、ボタンは直感的に使用できます。しかし、最大の利点は大きな編集デスクを使用せずに作業ができることです。膝の上に DaVinci Resolve Speed Editor を置いて、ラップトップでフッテージを確認しながら、

使用するカットを選択できるのは素晴らしいですね」と同氏は締めくくった。



www.blackmagicdesign.com/jp

◆ティアック：ライブストリーミング用エンコーダー / デコーダー『VS-R265』および『VS-R264』の録画機能を強化した無償アップデート『V2.0』をリリース

ティアック株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：英 裕治）は、TASCAM（タスカム）ライブストリーミング用 AV Over IP エンコーダー / デコーダー『VS-R265』および『VS-R264』の両機種において、内部ストレージへの録画をはじめとする録画機能の追加や、ブラウザソフトウェアの GUI を改善した本体ソフトウェアの無償アップデート『V2.0』をリリースした。

品名	バージョン	メーカー希望小売価格	リリース日
VS-R265、VS-R264 用本体ソフトウェア	V2.0	無償	2021年8月31日



本体内部ストレージ録画など大幅に機能が強化された録画機能

動画の録画は、SD カードや USB メモリーなどの外部ストレージへの録画に加え、本体の 17GB 内部ストレージに録画することが可能になった。

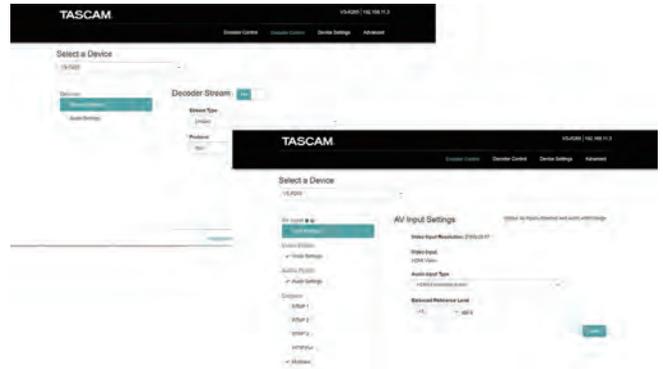
録画ファイルのフォーマットはこれまでの TS 形式に加え、新たに MP4 に対応。動画編集や投稿などがより簡単に行えるようになる。



また、SD カードや USB メモリーなどの外部ストレージへ録画する際、1 ファイルあたりの最大サイズが 2GB から 4GB に拡張した。

さらに録画時にストレージ容量が一杯になった場合は古い録画ファイルから自動的に削除する機能が追加され、配信時のバックアップファイルを自動生成して FTP サーバーにアップする際、ストレージの容量を意識せずに連続録画することが可能になる。

デザインを一新し、設定と確認が容易になった Streaming Dashboard



VS-R265、VS-R264 の設定を行う GUI 画面「Streaming Dashboard」のデザインやレイアウトが一新され、設定と確認がより簡単になりました。

【本体ソフトウェア V2.0 の主な特長】

- ▶ USB 外付けドライブ、SD/SDHC カードに加えて、本体の内部ストレージ (17GB) での録画に対応
- ▶ 録画ファイルの形式に MP4 を追加
- ▶ 外部ストレージで録画する際の 1 ファイルの最大容量を 2GB から 4GB に拡張 *1

*1 内部ストレージでは 1 ファイルの最大容量は 17GB となります。

- ▶ ストレージ容量が一杯になった場合、古い録画ファイルから自動的に削除する機能を追加
- ▶ Web ブラウザベースのリモートコントロールソフトウェア「Streaming Dashboard」のレイアウトが一新され、設定と確認がより簡単に
- ▶ 本体前面の STREAM ボタンで 3 系統の RTMP ストリーミングを同時に制御可能
- ▶ RTSP プロトコルのストリーミング出力など動作の安定性が向上

【仕様】

詳細仕様はウェブサイトを確認。

【製品サイト】

『VS-R265』 <https://tascam.jp/jp/product/vs-r265/top>

『VS-R264』 <https://tascam.jp/jp/product/vs-r264/top>

【本体ソフトウェア ダウンロードサイト】

『VS-R265』

<https://tascam.jp/jp/product/vs-r265/download>

『VS-R264』

<https://tascam.jp/jp/product/vs-r264/download>

ティアック株式会社 タスカムカスタマーサポート

URL : <https://tascam.jp/jp>



MPTE AWARDS 2021

第74回技術開発賞・第74回映像技術賞

2020年度の受賞が決定致し、下記にて発表。

http://www.mpte.jp/news/2021/08/18/mpte_awards_2021_1/
 新型コロナウイルスの影響により審査実施期間が長くなったことで、受賞発表までお時間を頂く形となりました。現在、学生版・映像技術賞<青い翼大賞>審査期間となります。

MPTE AWARDS 表彰式は11月開催予定。

詳細決定次第、協会ホームページにてご案内させていただきます。

<問い合わせ先>

(一社) 日本映画テレビ技術協会 事務局

Mail: seminar@mpte.jp

■技術開発賞 受賞一覧

※当賞は2001年度に「日本映画テレビ技術協会賞」(旧「日本映画技術協会賞」)から現在の「技術開発賞」と名称変更し、表彰を行っています。

第74回 (2020年度)

技術開発賞

題目	受賞者
新クロマキー技術「ニジクロ」の開発	金子 宗央、大西 祐輔 (関西テレビ放送 (株))
TBS 独自のリモート出演システム「TBS BELL」	(株) TBS テレビ 未来技術設計部 TBS Tech Design Lab

技術開発奨励賞

題目	受賞者
超テレビ連動アプリ テレビちゃんシステムの開発と実用化	テレビちゃん。タスクフォースチーム (株) 愛媛朝日テレビ

※当賞は2001年度に「日本テレビ技術賞」(旧「日本テレビフィルム技術賞」)と「日本映画技術賞」を統合した上で現在の「映像技術賞」へ名称変更し、表彰を行っています。

尚、映像技術賞の開催回数は、2011年度より日本映画技術賞の回数を継続して表記することになりました。

日本テレビ技術賞 (旧日本テレビフィルム技術賞) 受賞一覧

日本映画技術賞 受賞一覧

※受賞者の所属は、作品制作当時のものを記載させて頂いております。

第74回 (2020年度) 映像技術賞

技術	ジャンル	作品	受賞者
撮影	劇場公開	太陽は動かない	江崎 朋生
	TV ドラマ	連続ドラマ W コールドケース 3 ~真実の扉~	山田 康介
	ドキュメンタリー	生と死の音 ~新型コロナ専用 ICU、4日間の記録~	上遠野 将人 (日本テレビ放送網 (株))
	ニュース	星空を守る町・岡山美星町	花山 陽子、小出 義明 ((株) テレビ朝日)
照明	劇場公開	太陽は動かない	三善 章誉
	TV ドラマ	ドラマ こもりびと	井本 敬人 (NHK)
録音	劇場公開	罪の声	加藤 大和 壁谷 貴弘
音声	放送	1万人の第九 2020 つながろう今	田中 聖二 ((株) 毎日放送)
美術	劇場公開	※推薦なし	
	放送	第71回紅白歌合戦	第71回NHK 紅白歌合戦 デザインチーム
編集	劇場公開	アンダードッグ	洲崎 千恵子
	放送	1万人の第九 2020 つながろう今	露口 三郎 ((株) 毎日放送)
VFX		映像研には手を出すな!	実写「映像研には手を出すな!」VFXチーム ((有) スタジオ・バックホーン)
OAG		キスマイ 10周年でやれるかな? テレビ朝日人気番組の裏側に潜入しちゃったほぼ3時間 SP	横井 勝、加藤 喬 ((株) テレビ朝日)

◆東京国際映画祭：国際映画製作者連盟 (FIAPF) の映画祭委員会に選出

この度、東京国際映画祭は、世界の映画製作産業や映画祭の主要な担い手を代表する国際組織である国際映画製作者連盟 (Fédération Internationale des Associations des Producteurs de Films, 略称: FIAPF) によって、同団体の映画祭委員会メンバーに選出されました。FIAPFは、世界的に映画製作の状況が前進することを推進しており、特に関連する著作権構造の保護や映画を含むクリエイティブコンテンツの強力な保護に積極的に取り組む国際組織です。世界の映画祭を統括する組織として、国際映画祭の認定や運営規約の制定も行っています。今回、東京国際映画祭が選ばれた映画祭委員会の主な役割は、国際映画祭相互間、および国際映画祭とプロデューサー等間で生まれる、変遷と問題を議論するためのプラットフォームを提供することです。あわせて、FIAPFに認定された国際映画祭の運営状況確認や、FIAPFが規定する運営規約への提言、さらに映画祭間の紛争解決を支援しています。同委員会は① FIAPFの会長と② FIAPFに指名された世界の

映像業界の代表3名、③ FIAPFに認定されている映画祭によるオンライン投票で選ばれた8つの映画祭および④ FIAPFに指名された2つの映画祭の合計14名により運営されています。

東京国際映画祭は初めて選出された形で、以下の各映画祭とともに、2021年から2024年度までの3年の任期を務めます。

ベルリン国際映画祭 (ドイツ)、釜山国際映画祭 (韓国)、カンヌ映画祭 (フランス)、ロカルノ映画祭 (スイス)、ヴェネチア国際映画祭 (イタリア)、マル・デル・プラタ国際映画祭 (アルゼンチン)、上海国際映画祭 (中国)、タリン・ブラックナイト映画祭 (エストニア)、トロント国際映画祭 (カナダ)

東京国際映画祭の地位を世界の映画祭の中でより高めていくべく、今後も邁進していきますので、ご支援のほど宜しくお願いします。

★お問い合わせ先<紙媒体>：東京国際映画祭事務局 プロモーショングループ E-mail:tiff-press@tiff-jp.net

※現在テレワーク中心になっておりますのでお問い合わせはメールにてお願い致します